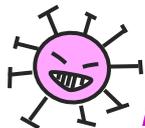


感染症に気をつけよう!!

2023年9月号

横浜市衛生研究所
感染症情報センター 9月5日発行



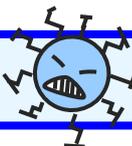
横浜市内の感染症流行状況



感染症*	流行状況		説明【解説付き既刊号等】 ← クリック
梅毒**	発生	横ばい	20~50代を中心として、報告数の多い状況が続いています。【 政府広報 動画 】【 無料 匿名検査 】
腸管出血性大腸菌感染症**	発生	横ばい	患者数が多くなっています。家族内の感染も報告されています。【 19.9号 】【 ちらし 】
新型コロナウイルス感染症*	流行	増加	5月8日以降、患者数の報告は 定点報告 に変わりました。幅広い年齢層で増えています。

* 国立感染症研究所 ** 厚生労働省

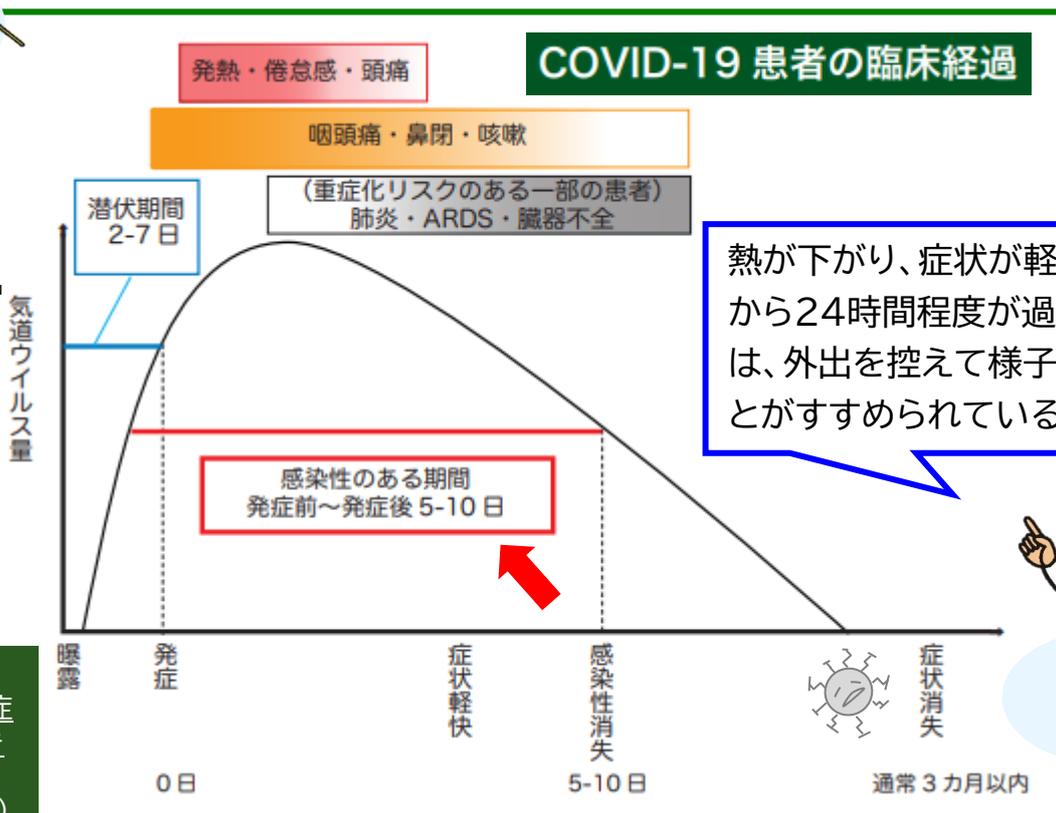
今、気をつけたい感染症



新型コロナウイルス感染症



かかってしまったら、発症後5日間は他の人に感染させるリスクが高いから、発症日を0日目として5日間は外出を控えた方が良いんだよね。**
もし、5日目になっても症状が続いていた場合は、どうするの？



熱が下がり、症状が軽くなってから24時間程度が過ぎるまでは、外出を控えて様子を見ることがすすめられているよ。



新型コロナウイルス感染症
診療の手引き
第10.0版
図2-1 (引用)